

# 文芸 さくらがわ

## 俳句

【桜川市岩瀬「秋」俳句会】  
天神の石段軽ろし梅の花

小林 啓治

春耕の鍬に愁ひをはね返す

萩原 勲彦

陶の里山菜莢は空奪ひ合ふ

三代 みちよ

うららかや身をいたわりて能舞台

入山 ひろ子

掘りあとの赤葱の土赤まじり

渡辺 いし

その昔飾りし雛しのぶ宵

若色 寿美女

踏まれても育つタンポポ遠筑波

金田 とう女

暮れてなほ桜は人を誘ひけり

細谷 充女

おぼろ月記憶の底の子守唄

永瀬 ちい

花冷えや嬰は拳のまま眠る

萩原 きしの

【茂山俳句会】  
絵馬鳴らす風の道あり藪椿

田崎 信子

花冷えの三春の空の狭くなり

君島 真理子

どこからも見える高さの花辛夷

松崎 いま

花曇認印うすき委任状

宮本 芳江

一枚の卒業証書軽からず

鈴木 ノブ子

花冷えやしんと日の射す石の町

竹林 てる

美しくとり散らかして雛納め

笠倉 陽子

歯一本抜かれて頼りなく寒し

植田 祥雲

二階建てバス満員の花の冷え

今井 繁子

花冷えや我が方丈の養生訓

金子 弘毅

夏みかんに重曹つけし遠き日よ

吉原 京子

碧い目の人も交じりし花筵

吉原 秀子

新人生眩しく揃ふランドセル

大関 くに

春の雨オランダ坂が流れ来る

海老沢 静夫

春物を少し買ひ足し旅準備

泉 健作

寂峰のくぐもる声も梅のころ

飯山 昭

## 短歌

【やまと早蕨歌会】  
畑行く陽だまりの中つくしん坊四方見つめて  
背伸びしている  
榎戸 栄子

久々に眠れぬ夜をもてあまし戸外を見れど得  
る物もなし  
木藤 とみ

雑草に負けじとつくし首出して散歩の道のし  
るべとなりて  
佐藤 悦子

初雪の白さを見れば思い出す孫とあそびいし  
蔵王の山よ  
田中 きみ

地震去りてはやひととせを送りしも未だはず  
せぬブルーのシート  
中原 すみ子

いつしに越えし峠ぞ限りなく吾行く未もは  
るか茫茫  
中島 龍子

我が病知る友よりの根つき菜をつちかう畑に  
夕陽輝く  
北条 正子

幾年も使い古りたる鍬見つつわれの齢を掌に  
見ゆ  
皆川 米子

【一般投稿】  
早春の学び舎去りし男孫少し長めの制服清し  
袖山 千鶴子

## 俚謡

【さくら俚謡会】  
花の八分へ蜜蜂遊び尻を動かし蜜を吸う  
つく志 輝美

苗も育つて代掻すんで今日は女房と初田植  
一木 みどり

旅に行きたし体が不安元気がたたく鯉のぼり  
岩瀬 きみ子

俺の影まで貧乏神が惚れて長居の客で居る  
稲葉 建正

オリンピックに沸き立つ真高射撃OBの晴れ  
舞台  
田 哲人

## 広報 さくらがわ 有料広告募集!

広告を掲載する方の利便性をよくするため  
4月号からサイズを大きくしました。  
是非、ご利用ください。

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円  
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。

■問合せ先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

## 広報 さくらがわ 有料広告募集!

広告を掲載する方の利便性をよくするため  
4月号からサイズを大きくしました。  
是非、ご利用ください。

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円  
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。

■問合せ先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268